



CHINA

2018.08.27-09.14

*記事は東京発行・最終版

光造形型3Dプリンターで作ったワークの説明に聞き入るモンゴル高専生(東京都品川区) 29日付



■ファーウェイ、豪州を提訴へ 5G参入禁止

豪州政府が、中国通信機器大手・華為技術(ファーウェイ)に豪州での第5世代通信高速通信整備への参入禁止を決めたことを受けて、同社は提訴するか検討に入った。(時事=11面)

■あす日中財務対話 米中貿易摩擦/通貨スワップ

日中財務対話が、北京で31日開かれる。1年3カ月ぶり。米中貿易摩擦について意見交換。「通貨スワップ協定」再開へ協議。10月予定の日中首脳会談に向けた環境を整える。(1面)

■東洋紡、臨床検査装置2種 遺伝子解析/成分分析装置

東洋紡は、医療機関で診断に使う同社の臨床検査装置2機種を中国で販売。全自動遺伝子解析装置と尿中有形成成分分析装置。医療水準の向上でニーズが高まると判断。(11面)

■8月31日(金) □

■NKE、自動化機器を中国生産 コンベヤー搬送機/車関連

NKEは、広州市に新設した生産子会社で、コンベヤー搬送機など自動化機器を本格生産。現地の自動車関連工場などで自動化ニーズが高く、自前の生産体制が不可欠と判断。(9面)

■9月3日(月) □

■ソディック、製麺装置4割増産 中国食品大手から6ライン受注

ソディックは、中国の食品大手会社から製麺装置6ライン受注。冷凍麺とロングライフ麺向け。上海市の顧客工

場に順次納入。日本の主力工場の製麺装置の生産能力を4割増。(8面)

■9月4日(火) □

■中国経済一先行き暗雲 米、制裁関税第3弾発動へ

中国経済の先行きに懸念。米国が制裁関税第3弾発動を視野に。2000億ドル相当の輸入に追加関税。総計2500億ドルに達し、米国による中国からの輸入総額の半分を占めることになる。(1面)

■産業用モーター駆動装置攻勢 東芝三菱電機産業システム

東芝三菱電機産業システムは、中国の広州白雲電器設備の折半出資会社であるG T M B Uの株式20%を白雲電器から取得した。中国で産業用モーター駆動装置などで攻勢。(9面)

■9月5日(水) □

■スズキ、中国生産を完全撤退 長安汽車との合併解消

スズキは、中国の重慶長安汽車との合併会社「重慶長安鈴木汽車」の合併を解消する。これにより、スズキの中国での合併会社はなくなり、中国での自動車生産から撤退する。(3面)

■9月6日(木) □

■住友化学、中国に新工場 有機EL/タッチセンサー

住友化学は、成都に有機ELパネル用タッチセンサーのモジュール工場を2019年度に新設する。現地で中国ディスプレイ企業を中心に有機ELパネル生産への大型投資が相次ぐ。(3面)

■浄水スポンジ、中国展開 雪ヶ谷化学/まず深圳市

雪ヶ谷化学工業は、汚水処理を効率

宗岡正二日中経済協会会長(前列左) 三村明夫日商會頭(同右) 11日付



化するスポンジ「Yキューブ」の中国展開を本格化する。深圳市の浄水システムへ採用。中国全土への普及を狙う。(28面)

■9月11日(火) □

■対中課税一第3弾近く判断 第4弾示唆/全て対象に

トランプ米政権が、対中制裁関税の第3弾発動を近く最終判断。家電や家具など約22兆円分。譲歩を引き出す構え。さらに第4弾を示唆、輸入品の全てが制裁の対象になる恐れ。(1面)

■日中一保護主義に對抗 EV、第三国で普及/合同訪中

日中経済協会などの合同訪中団は、北京市で中国商務部と対話。米中貿易摩擦の中、日中が保護主義への対抗を確認。また、電気自動車の第三国での普及促進で連携を共有。(3面)

■日立、テンセントと提携 IoT/スマートシティー

日立製作所は、中国インターネットサービス大手・騰訊(テンセント)とIoT分野での戦略的提携に合意した。スマートシティーの構築や製造・物流分野のIoT化。(10面)

■アリババ会長、1年後退任 後任=張勇CEO

中国EC最大手・阿里巴巴(アリババ)グループは、創業者・馬雲(ジャック・マー)会長(54)が1年後の2019年9月10日に退任する。後任は張勇(ダニエル・チャン)CEO(46)。(時事=3面)



会談する経団連の中西宏明会長(左)と 李克強首相=13日付



■9月12日(水) □

■住友電工、中国生産を移管 自動車部品/制裁対象

住友電気工業は、米中貿易摩擦の影響で、米国向け自動車部品の生産を中国から移管する。ワイヤハーネス接続部品が制裁対象。2019年にタイまたは米国の工場に移管。(3面)

■9月14日(金) □

■パナソニック、都市開発に参画 現地2社と提携

パナソニックは、中国・建築設計ソフトウェア大手グロッドンや蓄電池のリンクデータと、中国の都市開発に参画する。パナソニックはエアコンや照明器具、顔認証を提供。(3面)

■「スマート製造」新委員会 IEC/国際規格策定

IoTなどをを用いる先進的なモノづくり「スマート製造」の国際規格策定に向け、国際電気標準会議で委員会が11月発足する。日本やドイツ、米国、中国などが参加。(4面)

■米、中国に協議再開を打診 貿易摩擦/譲歩迫る

トランプ米政権が、中国との貿易摩擦緩和に向けた閣僚協議の再開を打診したとWSJが報じた。補助金を使ったハイテク産業振興戦略の見直しで中国に譲歩を迫る構え。(時事=4面)

■UACJ、電池箔を中国生産 車載用/年産1万ト

UACJは、車載用リチウムイオン二次電池に使うアルミニウム電池箔の中国生産に乗り出す。現地合弁会社の広東省工場に設備を新設。約50億円投資。年産1万ト。(17面)

■9月13日(木) □

■首相、来月訪中へ 米中貿易戦争・北朝鮮

安倍晋三首相は、ロシア・ウラジオストクで中国・習近平国家主席と会談。10月訪中調整する。日中の関係改善を加速。北朝鮮、米中貿易戦争が焦点になる。(1面)

■自動運転-世界標準で日中連携 新たな官民対話

自動車の価値を高めるCASEで、日本と中国の間で新たな官民対話の枠組みを創設することが明らかになった。自動運転などの世界標準確立を目指す。トヨタや日産が参加。(3面)

ASIA

■8月28日(火) □

■日華化学、韓国工場を増設 アパレル向け撥水剤

日華化学は、韓国子会社ニッカコリアの工場を増設する。約20億円投資。アパレル向け撥水剤などのフッ素化学品、機能性ポリマーが東アジアを中心に需要が伸びている。(3面)

■8月29日(水) □

■クルマ高まるアジアの存在感 販売15%増132万台

日本の自動車メーカーのアジア(日本を除く)の重要性が高まる。2018年4-6月の車7社の販売は前年同期比15%増の132万台で、世界販売比率は2.5%上昇の19.0%に伸びた。(1面)

■旭化成、韓国で増産 合成樹脂・繊維原料14%増

旭化成は、韓国で合成樹脂・繊維原料のアクロニトリルを増産する。年産能力を14%増の56万トに引き上げる。自動車・家電向け。また、年産20万トプラント新設を検討。(1面)

■第一工業製薬、台湾を移転増産 電子材料/月産2倍1000ト

第一工業製薬は、2021年までに、台湾の化学工場を移転増産する。新工場の生産能力は2倍となる月約1000ト。電子デバイスや電子基板向けの材料、樹脂材料向けに添加剤など。(15面)

■モンゴル高専一体験学習 東京・品川区/モノづくり

東京都品川区は、科学技術交流の一環としてモンゴル高専専門学校から短期就業体験で、品川産業支援交流施設で体験学習を実施。引率者1人を含めた10人(女性3人)が参加。(27面)

■8月30日(木) □

■外観検査-タイに自動システム 日本精機

日本精機は、長岡技術科学大学などと連携、生産品を画像で自動検査するシステムを開発。タイ現地法人で稼働する。人の手と目でしていた外観検査

を置き換える。(6面)

■タダノ、インドに合併設立 建設用クレーン/現地仕様

タダノは、インドのファリダバード市に現地クレーンメーカー・エスコットの合併会社を設立する。成長するインド向けに、建設用クレーンの開発・製造・販売するのが狙い。(8面)

■日本ゼオン、タイ製造 自動車用アクリルゴム

日本ゼオンは、タイ・ラヨーン県にアクリルゴムの生産・販売会社を新設する。自動車の内燃機関でシールやガasket、ホースなどの材料。ターボ搭載車などに需要拡大。(13面)

■タイ・プリンス大と協定 名古屋市大/41校目

名古屋市立大学は、タイ・プリンスオープンクラー大学と大学間交流協定を結んだ。研究や人材の交流を深める。名古屋市立大が交流協定を結ぶ大学は41校目。(22面)

■8月31日(金) □

■ベトナムに「ユニクロ」 来秋/4カ国目

ファーストリテイリングと三菱商事は、2019年秋にベトナムでユニクロ事業を始めるため、共同出資会社を設立する。タイ、インドネシア、ロシアに次ぐ4カ国目。(3面)

■台湾製CNC旋盤を導入 鈴木加工/不良品ゼロ

鈴木加工は、台湾・正代機製のCNC旋盤「TTB20B」を導入した。ワークを精度良く削れる。生産性が5%ほど向上するほか、不良品の発生率も20%からほぼゼロに。(9面)

■ネパールの伝統的耐震化技術 蛇籠/活用/防災科研など

防災科学技術研究所などは、ネパールの伝統的耐震化技術「蛇籠」を共同開発する。「蛇籠」と呼ばれる金網の中に石を詰めた構造体を使い、現地材料や技術で低コストに施工。(29面)

■9月3日(月) □

■インド2輪車生産体制を整備 川重/現地仕様車検討

川崎重工業は、インドの2輪車生産

や製品の体制を整備する。調達する部品の品質向上に着手。部品の明石工場への供給も。2025年までにインド向けの2輪車投入を検討する。(7面)

■オークマ、韓国現法社屋が完成 ショールーム併設/仁川

オークマは、韓国・仁川広域市に建設していた現地法人の新社屋が完成した。約9億4000万円投資。工作機械4台を展示するショールームを併設。営業、サービスを本格化する。(8面)

■正和電工、ベトナムで排水処理 バイオトイレ/浄化装置

正和電工は、ベトナムで省政府の協



ネパールの伝統的耐震化技術を共同開発する ■地震で崩壊した石積み住宅(毛利建築設計事務所提供) ■蛇籠は揺れに対して変形したり傾いたりするが、倒壊しにくい(防災科研提供) =31日付

力を得て、バイオトイレと浄化装置を合わせた分散型排水処理を展開する。現地企業と連携し構築。分散型のため安価に整備できる。(11面)

■9月4日(火) □

■インドネシアで水素エネ供給 東芝エネシス

東芝エネルギーシステムズは、インドネシア技術評価応用庁と自立型水素エネルギー供給システムの普及に向けた協業に合意した。離島での安定的な電源確保が課題。(10面)

■住商、インドネシアで宅配 現地財閥リッポー/EC向け

住友商事は、インドネシア財閥リッポーグループと、同国で宅配事業を展開する。相互に事業基盤やノウハウを活用し現地の電子商取引の宅配需要に対応する。(14面)

■9月5日(水) □

■食品香料-タイで生産 豊玉香料/東南ア開拓

豊玉香料は、タイ工場で生産した食品香料を今秋から海外市場に投入する。将来は「ハラル」認証を取得するなど、東南アジアを中心に海外市場を積極的に開拓する。(15面)

■9月7日(金) □

■新明和工業、タイに新工場棟 インド開拓/特装車シリンダー

新明和工業は、タイ子会社の近接地を取得して新工場棟を2019年度に建設する。低価格ながら耐久性を確保した特装車用シリンダーを生産し、新たにインド市場を開拓する。(6面)

■産業用IoTアプリ安全で提携 トレンドマイクロ/台湾Moxa

トレンドマイクロと台湾のMoxaは、産業用IoT向けアプリのセキュリティで提携した。サイバーセキュリティと産業ネットワークにおける両社の専門性を融合。(11面)

■9月11日(火) □

■サムスン、NYにAI研究拠点 ロボット工学権威招聘

韓国サムスン電子は、米ニューヨークにAI研究センターを設立した。ロ

ボット工学の権威、ダニエル・リー副社長がセンター長を務め、研究拠点とする計画。(時事=10面)

■JEMSにタイ政府視察団 産廃適正管理

JEMSは、JICA筑波が受け入れたタイ工業省の視察団向けの視察会を東京本社とBPOセンターで開いた。工業局の産業廃棄物部門や情報システム部門の職員4人が参加。(33面)



産廃管理システムの操作を見学するタイの職員ら

■9月12日(水) □

■東芝機械、インド新工場 NAFTA再交渉/米輸出

東芝機械は、インドに2021年に新工場。射出成形機を6割増の年2500台に。ダイカストマシン生産も検討。NAFTA再交渉で顧客が自動車生産を米国にと予想。米国輸出も本格化。(1面)

■三菱ふそう、タイ生産 建設向け大型トラック

三菱ふそうトラック・バスは、タイの東部経済回廊に現地向け商用車の組立工場を建設する。急速に拡大する建設向け大型トラック「FJ 2528C」を生産。(7面)

■クラレ、タイ新工場400億円投資 最大規模/車用耐熱樹脂

クラレは、タイ新工場の設備投資額が約400億円になる見通し。同社最大規模。自動車用の耐熱樹脂などを生産。2022年操業。熱可塑性エラストマーが年1万6000トなど。(17面)

■9月13日(木) □

■ダイセル、インドに販社 エアバッグ用ガス発生装置

ダイセルは、インドの州グルガオンに自動車エアバッグ用インフレータ

「中国・アジアダイジェスト」面 次回は10月8日に掲載します。

■日中一貿易ルール作り推進 李首相と会談/合同訪中

日中経済協会などの合同訪中団は、北京市で中国・李克強首相と会談した。李首相は「経済貿易協力のレベルアップの条件は整った」と、相互補完的な貿易ルール作りを推進。(3面)

■三菱ケミ、成都市に新工場 機能性樹脂/車内装・食品・医療

三菱ケミカルは、成都市に機能性樹脂の製造拠点を新設する。スラッシュ成形用PVC(ポリ塩化ビニール)コンパウンドを生産。自動車内装表皮用紙や食品、医療、光学向け。(17面)

■9月14日(金) □

■パナソニック、都市開発に参画 現地2社と提携

パナソニックは、中国・建築設計ソフトウェア大手グロッドンや蓄電池のリンクデータと、中国の都市開発に参画する。パナソニックはエアコンや照明器具、顔認証を提供。(3面)

■「スマート製造」新委員会 IEC/国際規格策定

IoTなどをを用いる先進的なモノづくり「スマート製造」の国際規格策定に向け、国際電気標準会議で委員会が11月発足する。日本やドイツ、米国、中国などが参加。(4面)

■米、中国に協議再開を打診 貿易摩擦/譲歩迫る

トランプ米政権が、中国との貿易摩擦緩和に向けた閣僚協議の再開を打診したとWSJが報じた。補助金を使ったハイテク産業振興戦略の見直しで中国に譲歩を迫る構え。(時事=4面)

■日産、シルフィEV生産開始 新型EV5車種投入(8月28日7面)

■ゴミ焼却発電2件受注 日立造船(28日8面)

■丸紅、浙江省で中高層住宅 嘉興南駅(29日3面)

■中国EV関連会社に投資 伊藤忠(30日14面)

■中国・会計事務所大手と連携 南青山グループ(9月12日25面)

■杭州で大規模複合開発 三菱地所/オフィス中心(13日20面)

■第一交通、中国配車アプリ導入 ディーデューション(13日20面)

■「ミキハウス」電子商取引 富裕層を攻略(14日19面)

■(ガス発生装置)の販売子会社を10月に設立する。これまでタイの製造販売会社から行っていた。(17面)

■9月14日(金) □

■東南アの高精細デジタル地図 インクリメントP

インクリメントPは、東南アジア10カ国の高精細デジタル地図をクラウド経由で国内外に提供する。物流業者向けの運行管理システムを手がける日系企業を中心に。(7面)

■旭化成、製造技術供与を拡大 エンジ樹脂/韓中向け

旭化成は、自動車部材などに使うエンジニアリング樹脂のポリカーボネートの製造技術ライセンスを拡大する。韓国化学大手・ロッテケミカルに供与。中国大手のプラントが稼働。(15面)

■マレーシアに特性評価拠点 日立化成/感光性フィルム

日立化成は、マレーシア・ジョホール州の子会社内に感光性フィルムの特性評価をする「技術センタ」を設ける。東南アジアや韓国、台湾などの顧客との共同開発拠点にも。(15面)

■スリランカ保険に23億円追加投資 三井住友海上(28日33面)

■大成建設、東南ア深耕 連携/協業も視野(30日14面)

■インドネシアで送配水管洗浄 中里建設/発泡性ワレタン(31日7面)

■簡易水質測定、ベトナムで運用 オプテックス/IoT対応(4日8面)

■睡眠時無呼吸症治療器レンタル 帝人ファーマ/韓国(4日11面)

■ベトナム大型浄水場の改善工事 山九・神鋼環境ソリュ(5日15面)

■インドネシア鉱区権益10%取得 三井石油開発(5日15面)

■大和ハウス、ベトナムで物流施設 マルチテナント型(6日14面)

■三井、台北に直営ホテル 台湾3件目(6日15面)

■JAL、東南ア路線拡充 マニラ線開設など(7日16面)

■JSR、ベトナム現法の営業開始 石化製品・金属容器(13日17面)